

2008年G8サミットNGOフォーラム 第2期(2007年9月18日~2008年9月)

参加団体

記入日: 2007年9月25日

* 団体名: (日本語) **滋賀県環境生活協同組合**

(英語)

* 住所: 〒521-1341 滋賀県蒲生郡安土町上豊浦 1273

* Tel: 0748-46-4551

Fax: 0748-48-4550

* 連絡用 E-mail: econavi@mx.biwa.ne.jp

* ウェブサイト: www.econavi.or.jp

参加ユニット:

貧困・開発ユニット	
環境ユニット	
人権・平和ユニット	

参加の形態:

運営NGO	
サポートNGO	

団体の設立年月日
1991年1月19日
団体設立の経緯と目的
1977年、琵琶湖での大規模赤潮発生を契機に湖国に“せっけん運動”のうねりを展開。富栄養化が更に進行し、1983年アオコの発生に直面する中、市民主導の実践・政策提案組織として、全国初の環境専門生協の設立へ。
代表者名
藤井 絢子 (FUJII AYAKO)
団体の主な活動内容
<p>主要事業内容は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none">) リサイクル事業: 廃食油・牛乳パックの回収・製品(せっけん、BDF燃料、トイレロール、ティッシュペーパー)開発・利用の仕組み) 合併浄化槽普及: 流域下水道への対案提案として、個人設置の下水道(合併処理浄化槽)の普及。) 環境商品普及: 水・緑・大気・土・自然エネルギーをテーマとする商品普及。) 再生可能エネルギーの展開: 地域フォーラム・シンポジウム・環境学習・講演etc。 <p>環境にやさしい暮らし提案をする中、暮らしている地域そのものの20世紀型からの転換をめざし、資源循環地域モデル“菜の花プロジェクト”をプロデュース。</p>
NGOフォーラムで団体を実現したい活動
<p>バイオマスを積極的に取り入れている地域とヒト・情報の交換。</p> <p>世界各地で地球温暖化防止に向け具体的な実践が数多く展開されている。</p> <p>水・食・エネルギーいずれも深刻化の度合いが進む中、ことのほか途上国の人々、地域に生かせる適性技術(appropriate technology)が緊急課題となっている。</p>